

## 平成27年度 第1回大和市障がい者福祉計画審議会会議録（要旨）

日時： 平成27年9月1日（火）14時00分～15時00分

場所： 大和市地域医療センター 2階 講習室

委員： 関水会長、横川委員、佐藤委員、内藤委員、春日委員、田中委員、馬場委員、  
小山委員、村元委員  
（欠席）仲嶋委員、田所委員

事務局： 大矢部長、熱田課長、笹岡係長、関水係長、下野係長、小野、首藤、青山

傍聴： 無し

### 会議次第

1. 開会
2. 委嘱式
  - （1）委嘱状の交付
  - （2）自己紹介
  - （3）会長及び職務代理の選出
3. 議題
  - （1）大和市の障がい者の状況について
  - （2）指定障害者福祉サービス等の実績及び見込みについて
  - （3）大和市障がい者福祉計画について
4. その他  
事務連絡、次回日程

#### 1. 開会

#### 2. 委嘱式

- （1）委嘱状の交付
- （2）大和市健康福祉部長より挨拶
- （3）自己紹介
- （4）会長及び職務代理の選出  
事務局に一任にて、会長は関水委員、職務代理は横川委員に決定する。
- （5）会長より挨拶

### 3. 議題

#### (1) 大和市の障がい者の状況について（資料1）【資料記載の説明は省略】

事務局：大和市の障がい者の状況（資料1）について説明

委員：質問等なし

#### (2) 指定障害者福祉サービス等の実績及び見込みについて（資料2）【資料記載の説明は省略】

事務局：障害者福祉サービス・指定相談支援の種類ごとの実績及び必要量の見込み（資料2）について説明。

前回の計画策定の際、過去のデータが不足しているとの指摘があった。全てのデータを計画に入れることはできなかったが、今回の審議会にて過去のデータを提示し、その資料をホームページにて公開の予定。

委員：自立訓練（生活訓練）について（資料2、P3）、平成26年度は実利用者数8人、103人日であるのに対して、平成27年度は実利用者数10人、230人日と増えている。特別な理由があるのか。

事務局：平成27年度は見込み数値であり、平成26年度は予想より数値が伸びなかった。

委員：現在の中間値はどうなっているのか。

事務局：具体的な数値は本日持ち合わせていないが、自立訓練の特性として、一人が利用を開始すると、月単位、年単位と長期間の利用となることがある。結果、数字が大きく動くこととなる。

委員：就労継続支援A型について（資料2、P4）、平成26年度に対し平成27年度は利用者が少なくなっているが、人日は増えているのはなぜか。

事務局：平成26年度の実利用人数を昨年12月の時点では、16人と見込んでいたが、実際は19人の利用があったため。

委員：資料の「人日」はどう読むのか。

事務局：「にんにち」と読む。例えば、一人3日の利用で3人日となる。

事務局：計画策定時、平成26年度の実利用者数を16人、368人日と見込んだが、実際には19人、302人日であった。策定時の見込みであるため、このような数値になっている。大きな数を見込んでおり、今後ある程度需要が増加しても、対応できるようになっている。

委員：短期入所について（資料2、P5）、平成25年度より平成26年度の方が利用者は増えているのに対して、人日は減っているが、なぜか。

事務局：短期入所ではあるが、実際には長期で利用している方がいた。その方が平成26年度に施設入所に移行したためこのような結果となった。

委員：保育所等訪問支援（資料2、P7）について、平成25年度は実利用者数4人、13人日であるのに対して、平成26年度は実利用者数10人、8人日と実利用者数は増えているが人日は減っている。理由があるのか。

事務局：平成24年度に新設の制度で、全国的に手探りでやっている。専門の心理士等が保育園などを訪問し、先生にアドバイス等をするもので、子どもに関し理解が進めば支援を終了させる。平成26年度は現場の熟練度が上がり、むしろ少ない回数で済んだということ。また、今後も人数は変動するものと思われる。

### （3）大和市障がい者福祉計画について【資料記載の説明は省略】

事務局：大和市障がい者福祉計画は、「障がい者福祉計画」と「障がい福祉計画」の二つの計画から構成されている。

「障がい者福祉計画」は理念的なもの、「障がい福祉計画」は数値目標やサービスの見込量などを定めています。数値目標は、見込みの数値をベースにしているため、実際の実績と相違する場合があります。

方針3（P22）、ライフステージに応じた生活の支援（親なき後の生活支援）については、「親なき後」について重要との意見があり、解説を加えた。

委員：質問等無し

事務局：今後は、この計画に実効性を持たせていくため、どのように進捗管理を行っていくのかを考えていきたい。基本的には、主な事業の中から進捗管理を行っていく方針である。

また、本件は、平成26年12月の見込みを基に計画を策定しているため、実際の数字とかい離しているものもある。社会情勢が変化するなか、足りない事項等があれば、その事項についても検討していきたい。

最後に、進捗管理すべき事項等についてアイデアをお持ちであれば是非ご意見をいただきたい。

#### 4. その他

事務局：次回の審議会は、12月頃を予定としたい。

以上